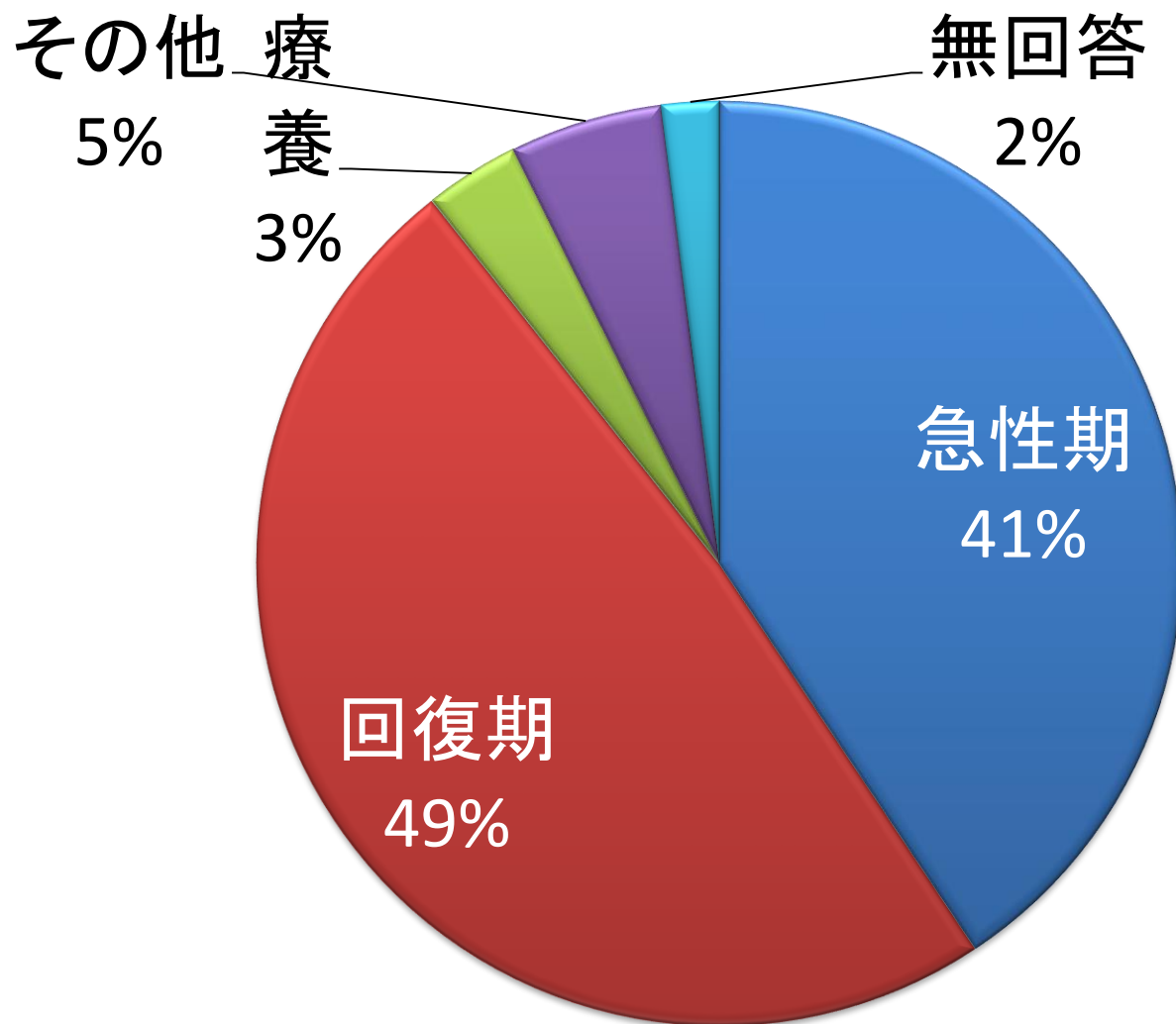


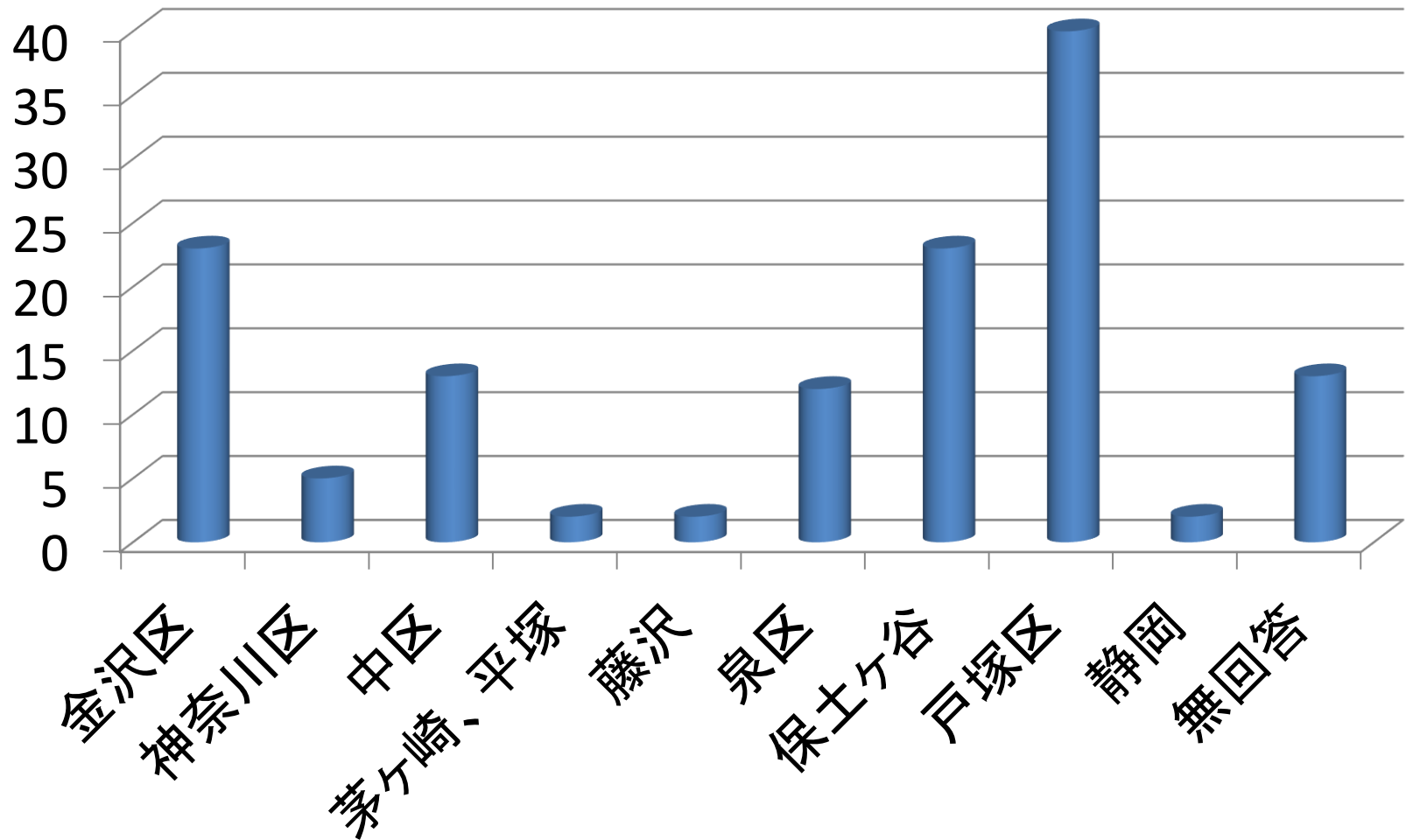
第17回
横浜脳卒中・リハ連携研究会
(Y-CIRCLE)アンケート結果

勤務(担当)病棟

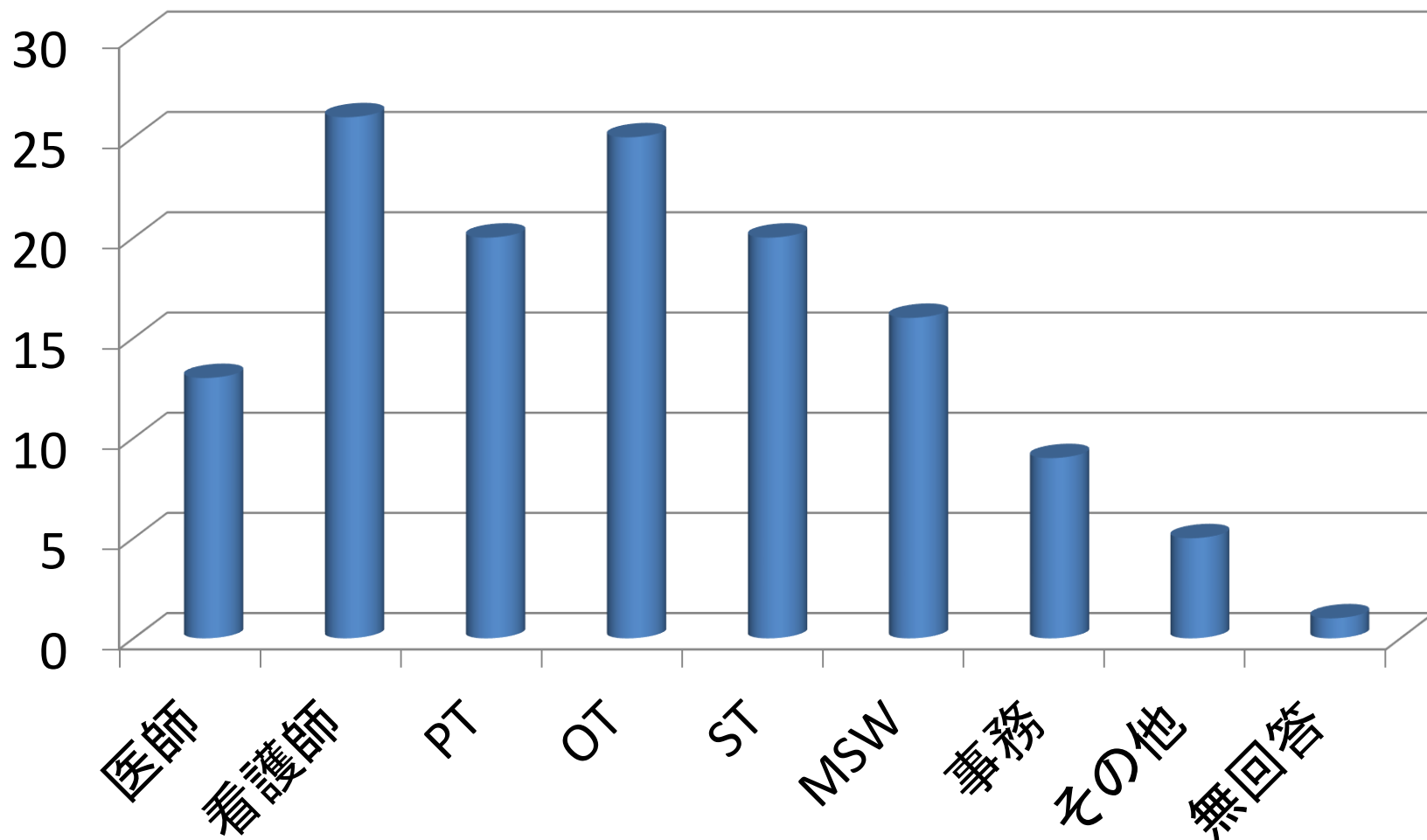


複数回答: 15

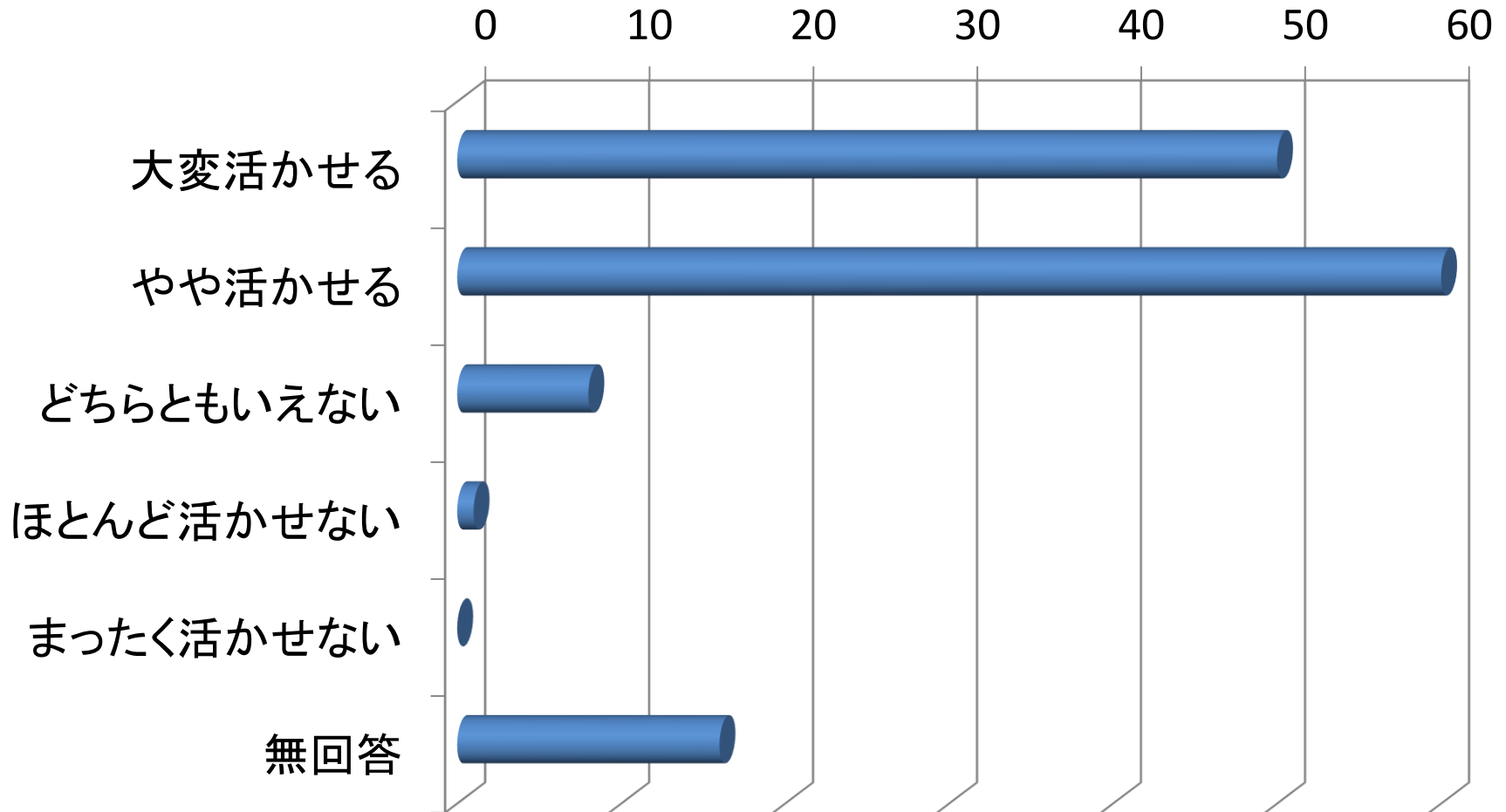
施設住所



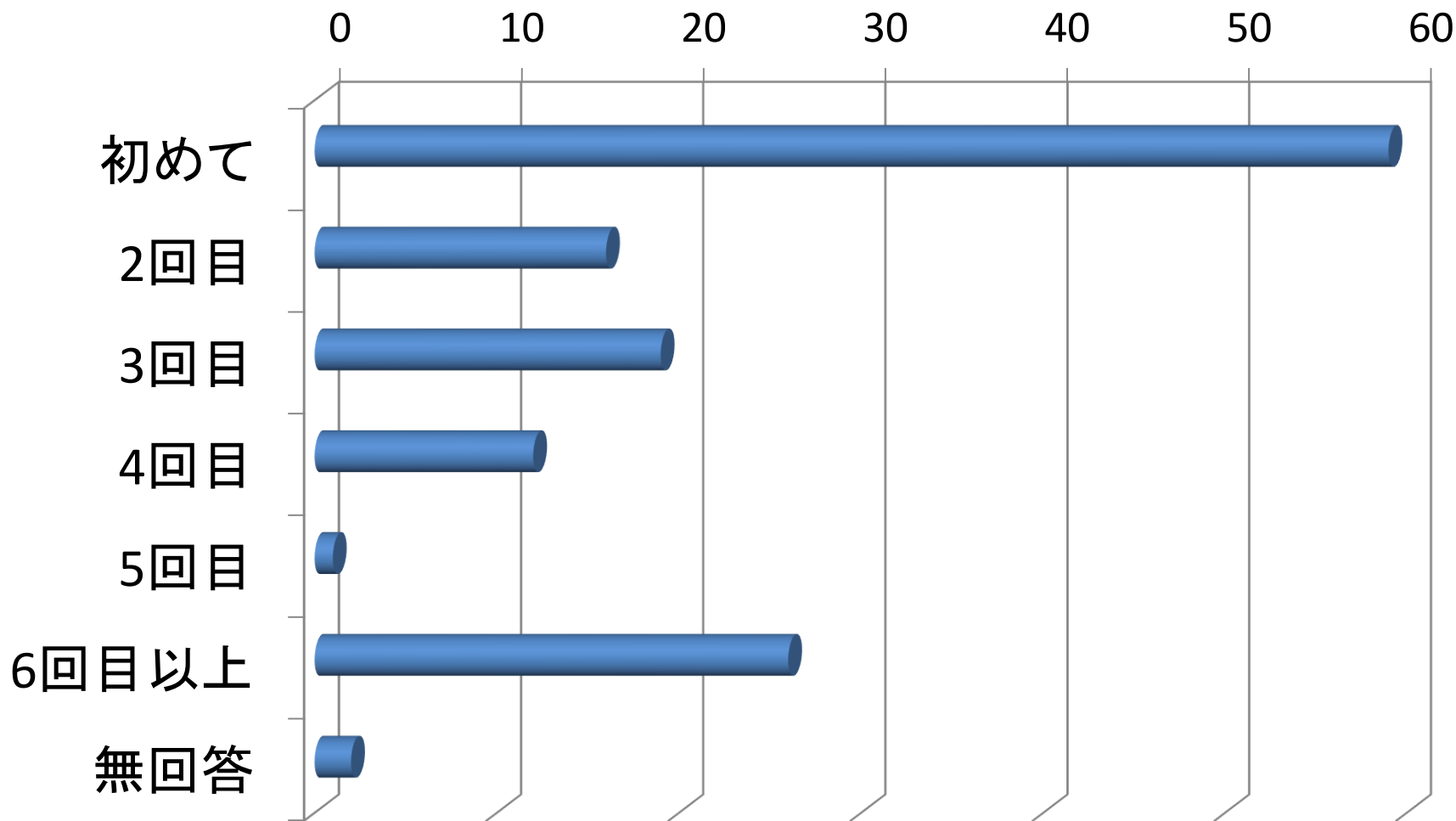
職業



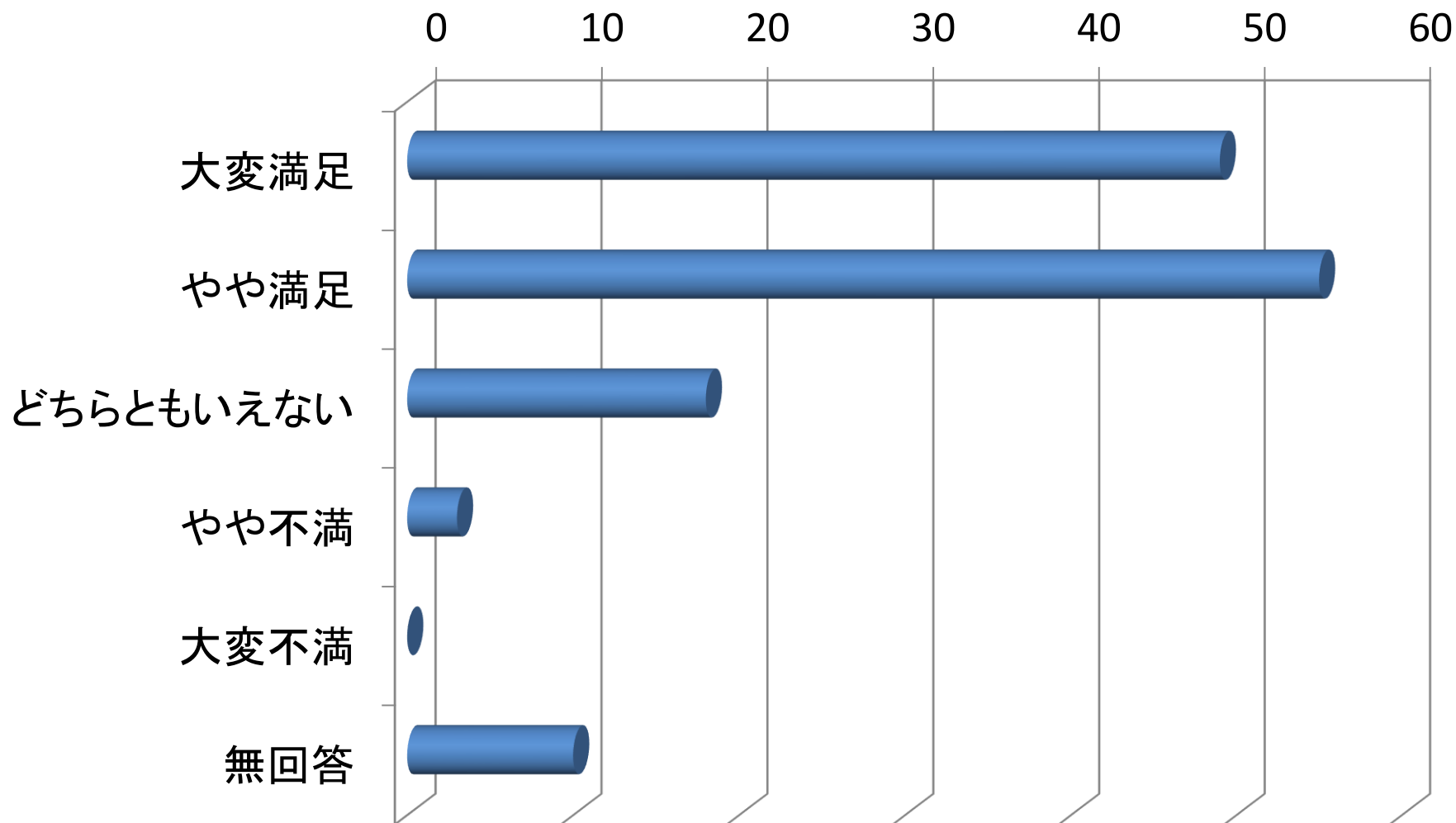
研修内容の業務貢献について



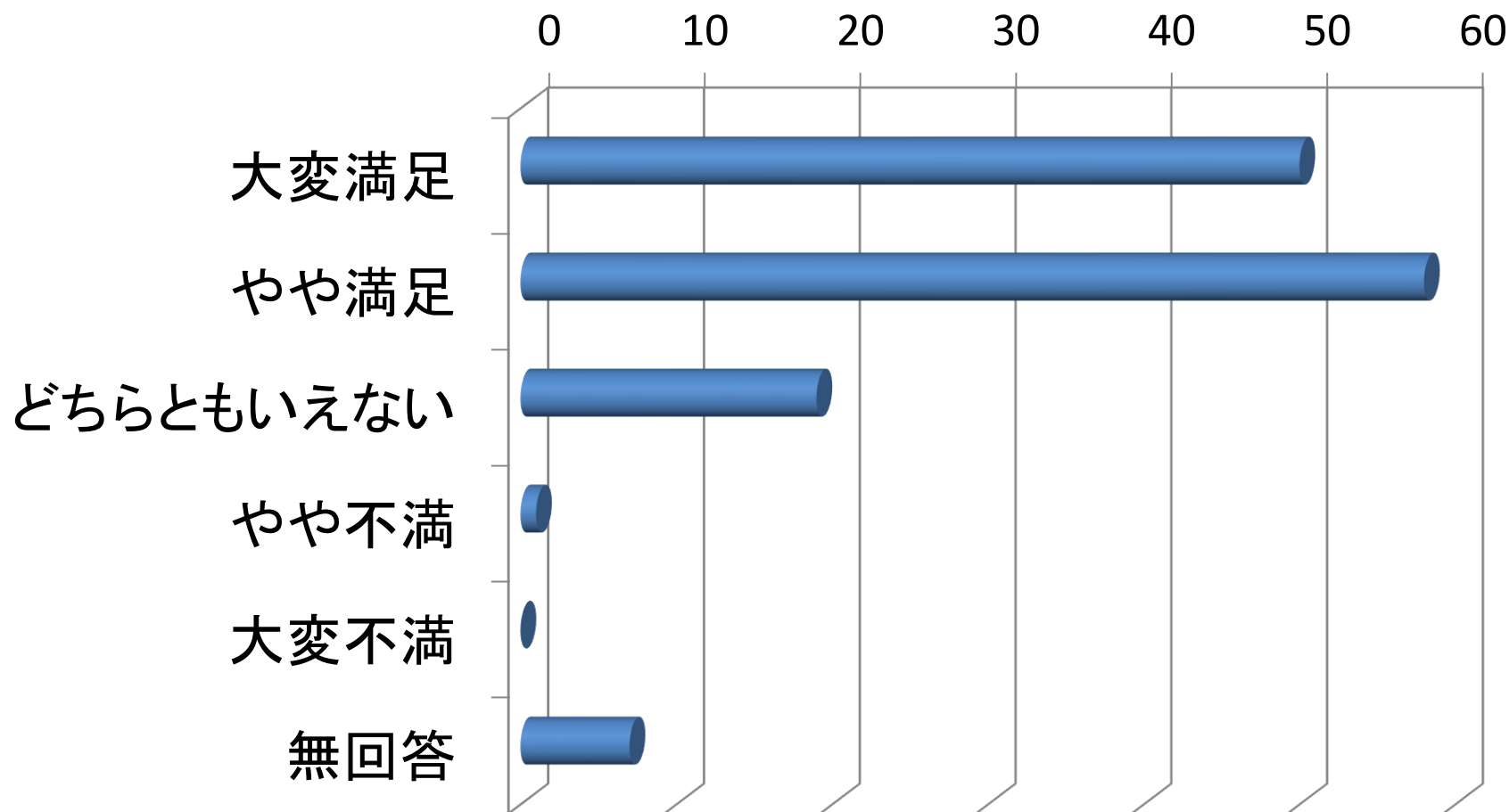
今回は何回目の参加となりますか



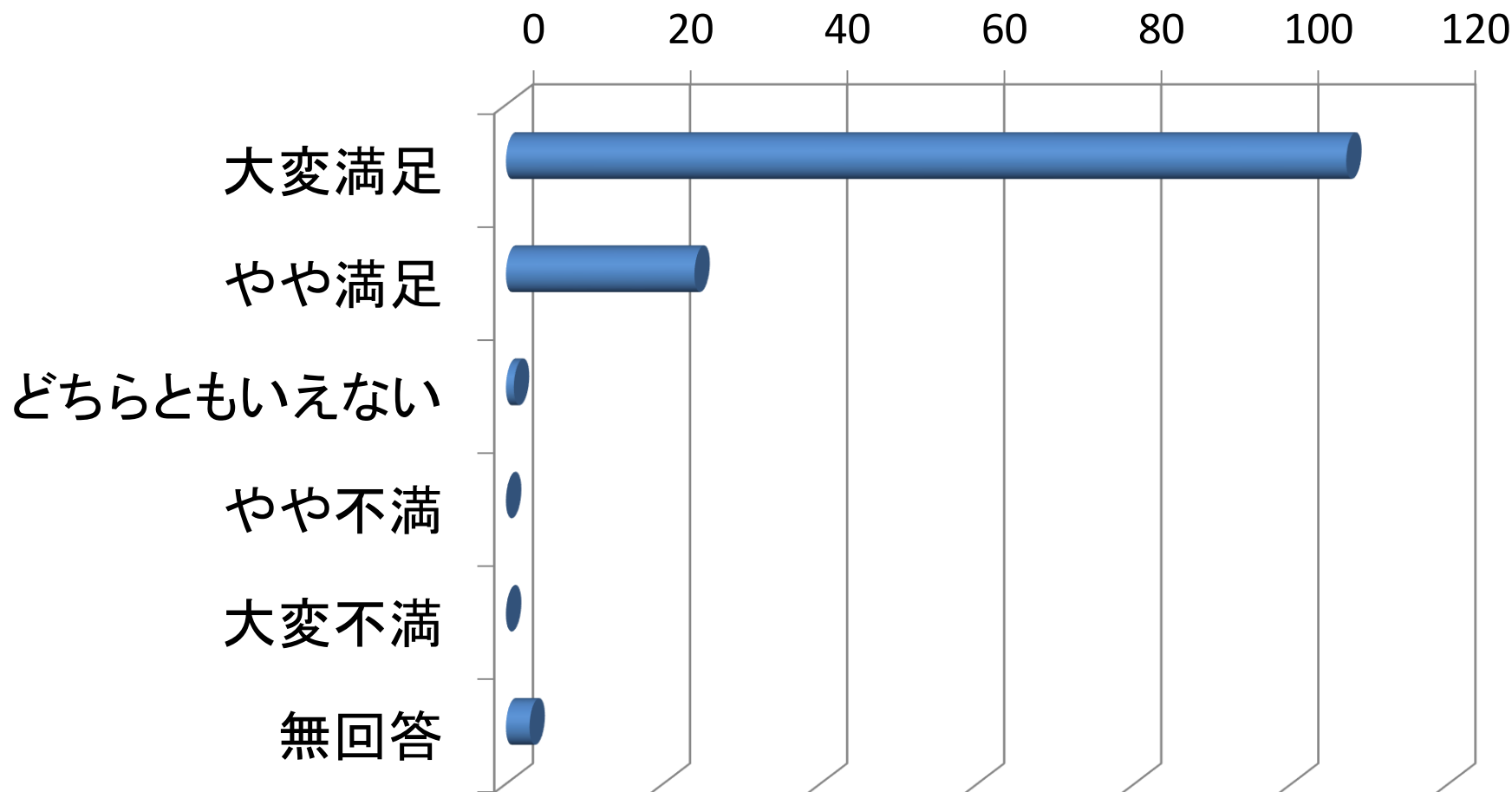
研究報告について



症例リレー

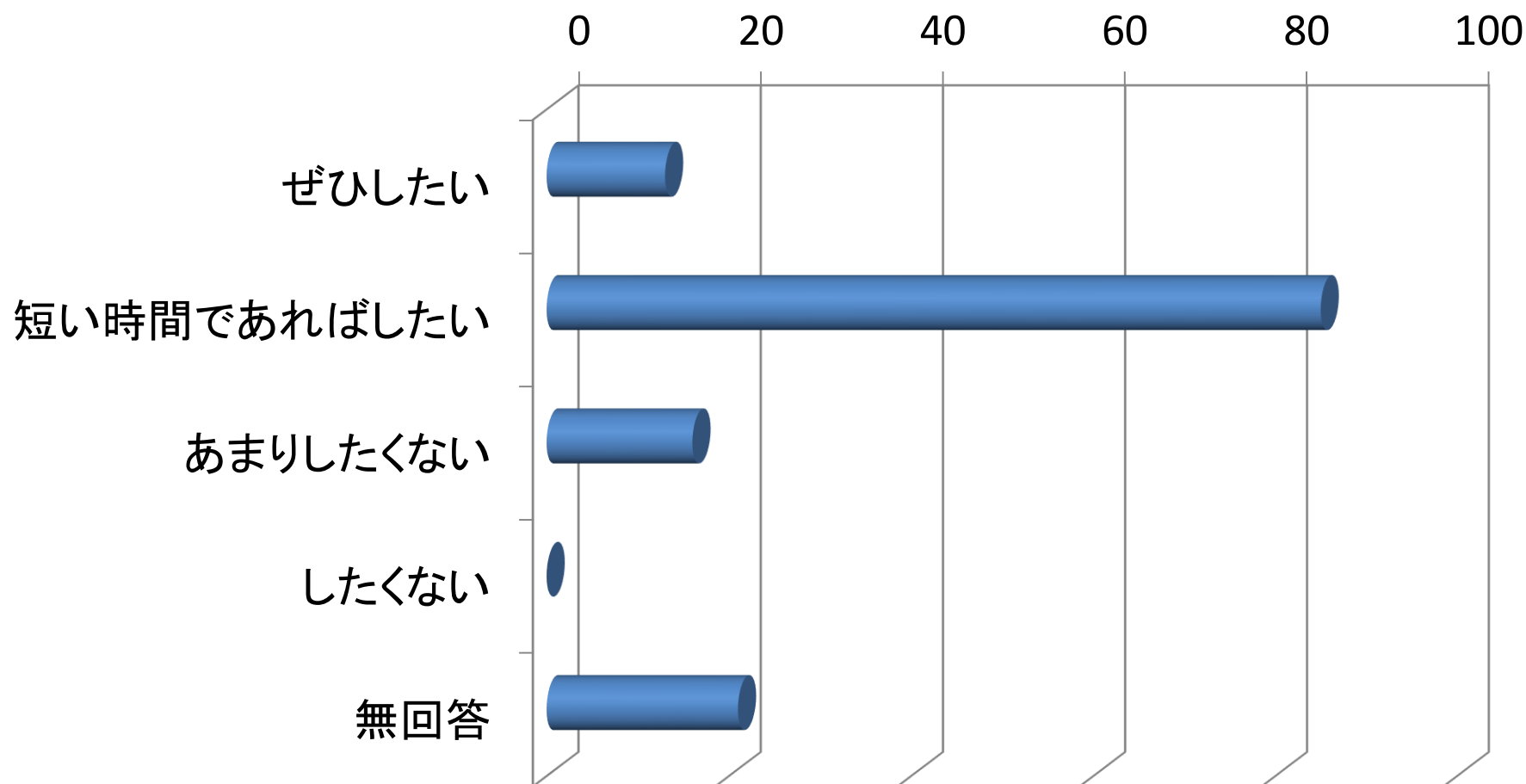


特別講演



無回答 6

研修後、参加者同士でのディスカッションの機会があれば参加したいですか。



第17回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)アンケート結果

(回収枚数 135)

勤務(担当)病棟

急性期	回復期	療養	その他	無回答	複数回答	計
61	73	5	8	3	15	135

施設住所

金沢区	神奈川区	中区	茅ヶ崎、平塚	藤沢	泉区	保土ヶ谷	戸塚区	静岡	無回答	計
23	5	13	2	2	12	23	40	2	13	135

職業

医師	看護師	PT	OT	ST	MSW	事務	その他	無回答	計
13	26	20	25	20	16	9	5	1	135

研修内容の業務貢献について

大変活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かせない	まったく活かせない	無回答	計
50	60	8	1	0	16	135

今回は何回目の参加となりますか

初めて	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目以上	無回答	計
59	16	19	12	1	26	2	135

研究報告について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
49	55	18	3	0	10	135

症例リレーについて

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
50	58	19	1	0	7	135

特別講演について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
107	24	1	0	0	3	135

研修後、参加者同士でのディスカッションの機会があれば参加したいですか。

ぜひしたい	短い時間であればしたい	あまりしたくない	したくない	無回答	計
13	85	16	0	21	135

(質問) ●研究会に参加してどのような点が良かったですか

特別講演

とても勉強になった

とても分かりやすく最近の知見を学ぶことができました x4

新しい知見に繋がった

脳卒中ニューロリハビリテーションについて学べて良かったです x8

嚥下訓練方法について知ることができ在宅でも行えると感じた

失語へのアプローチのヒントを頂きました

VF, VEを利用したリハビリについて

CI療法 x2

リハビリの重要性や看護職としてリハビリを行う患者様への関わり大切さに気付くことができた

質疑応答で多職種からの目線の違う質問が交わされており興味深かった点

急性期の病院に勤務する医師としては、治療後数日経過した時、転院前の時期でリハビリによる効果がある程度できた後症状が横ばい時に患者さんのリハビリに対するモチベーション低下を感じることがあります。モチベーション維持という点において大変勉強になりました。

症例リレー

急性期～回復期、ENTまで一連の流れがわかる症例でありよかった。 X5

症例をきけたことが良かった x2

交流

他院の患者への関わりを知ることができてよかったx2

病院の症例を知れた

他院の評価内容や参考資料を知ることができた

他施設との交流ができた事 x4

他院の対応アプローチを知れて良かった x5

他病院の同職種、他職種の意見を聞いたこと

回復期の様子が分かったのが良かった

その他

内容も良く、場所が変わってとても行きやすくなった

会場が良かった

コミュニケーションを促していて良い

（質問） ●研究報告について感想をお書きください

若い方の症例には高齢者とはまた違うアプローチが必要なのだという事を実感しました。

若年の報告は初めてではないだろうか、そういうケースも面白いと思う

高次機能障害の理解が深まった

訓練立案について参考になった

リハビリ視点での発表は解りやすかった

患者自身と家族の病識についてどう関わっているのか気になった

重症例のリハ介入の様子を知れて良かった

がんばっているという印象

大変勉強になった

今後の職務に生かしていきたいと思いました。

在宅へ戻るという事、少し感動しました

とても勉強になった

症例報告

もう少し生活着目した方が良かった

研究ではなくシングルケースであったことが残念だった

家族は在宅を希望していましたが本人は復職希望していました。どちらの希望が優先なのかと感じました。本人がレベル高いところを希望している場合そこを目指して動くべきと思います。それに本人のやる気にもつながります。

急な発表であった為、脳卒中ではなく頭部外傷になってしまった。研究会のテーマとはズレが生じてしまったことが悔やまれる
今後も研究報告を楽しみにしているが研究の対象などアンケートを取って困難事例等多く研究できたらよいのでは

(質問) ●聞いてみたい症例リレーのケース

復職援助が中心となったケースについて

在宅復帰困難と考えられるケースを聞いてみたい

嚥下について

急性期から回復期への転院が困難だったケース

家族背景の難しい患者様の症例を聞いてみたいです x2

家族の方針が2転、3転する症例

若年で発症の急性期～回復期～その後

社会復帰へ繋がった症例 x4

急性期一看取りまでのリレーが聞きたい。ケースの状態報告ではなく、どういう連携をしてそれがその症例のADL、QOLにどう作用したのかが聞きたい

介助レベルで退院した患者様が在宅でどのように生活をされているか

連携がうまくいかなかった事例など

PT参加型

高次脳機能のつよく認めた方が、急性期に困ったことが多かったケースがどうなっていくのか知りたいです

kAFOをSCUから用いた歩行リハビリテーションを行った症例

失語症のリハビリ

麻痺重度、高次脳機能が在宅が難しい患者への取り組み

本人の意欲、経済的、家族的背景のある方の急性期で社会資源をどのように選択するのか

退院後の様子も知ることができると在宅に向けたリハビリがイメージしやすいと思いました

時間が短い x3

(質問) ●聞いてみたいテーマや講師がいればお書きください。

CI療法、大変興味を持ちました

脳画像の診断について

脳画像から読み取れる症状とか

リハビリの歴史を知るとともに、専門家として学びやその時代の考えがあることを共通と考えた

やる気のない人への動機づけをどうすべきか聞いてみたい

顔面神経麻痺、リハビリ

注意障害について

急性期のケア・リハにもとめられるもの

CI療法について

B法も聞いてみたい

川平先生

運動学習を症例をまじえて聞いてみたいです

高次脳機能障害

CIATについてどのように実施しているかもう少し聞きたかったです

AIのリハビリへの適応

竹林先生のCIも聞いてみたいです

吉尾雅春、丈畑光司、歩行リハビリテーション、ロボットリハ

●その他・要望等ございましたらご自由にご記入ください。

参加者の名簿があれば情報交換会の際さらに顔の見える交流ができる

どの席からでも演者が見えるようにしてほしい 講演内容の資料がほしい x2

開催場所も交通の便利が良く良かったです x8

特別講演うは大変興味深い内容でした x2

会場の椅子や机が疲れない

できるADL, しているADLとよく言われますがそれがイコールになるように働きかけていきたいと思いました。

時間が超過しやすいので配分を考えてほしい

症例リレーにもう少し時間が欲しかった

他病院の同職種、他職種の意見を聞けたこと

会場が寒かった